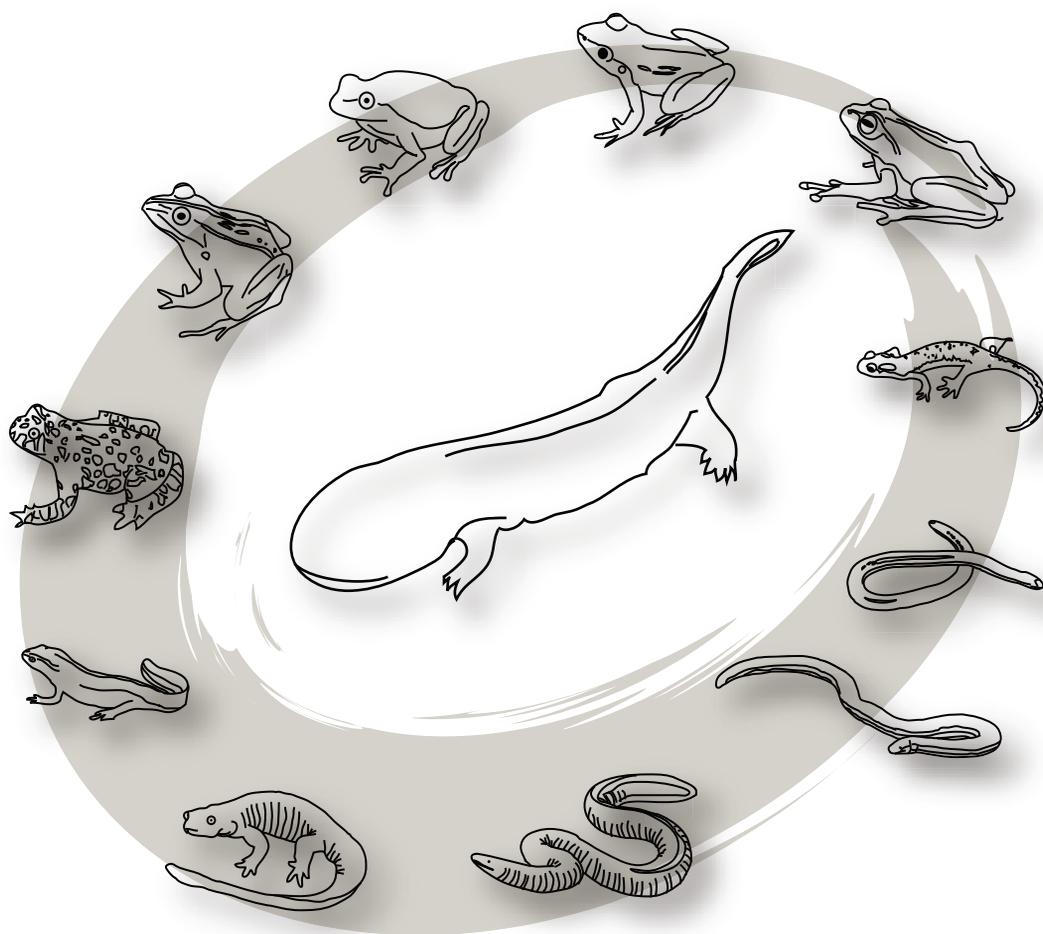


日本爬虫両棲類学会 第45回大会プログラム

The 45th Annual Meeting of
Herpetological Society of Japan



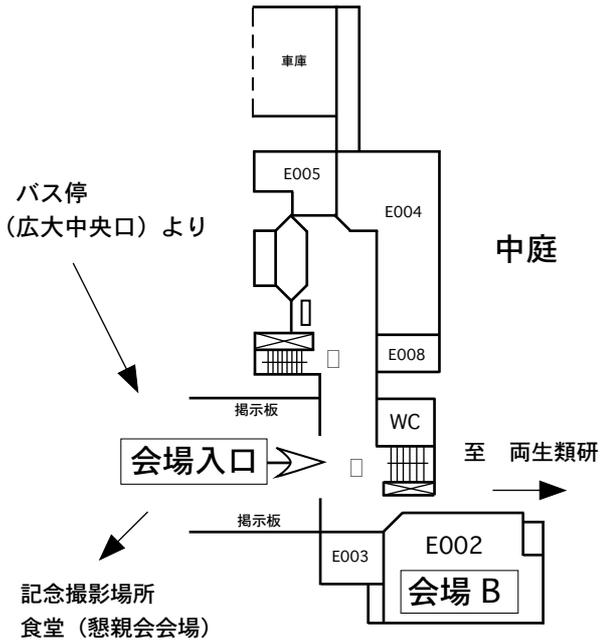
広島大学大学院理学研究科

2006年 10月 21日（土）～ 10月 22日（日）

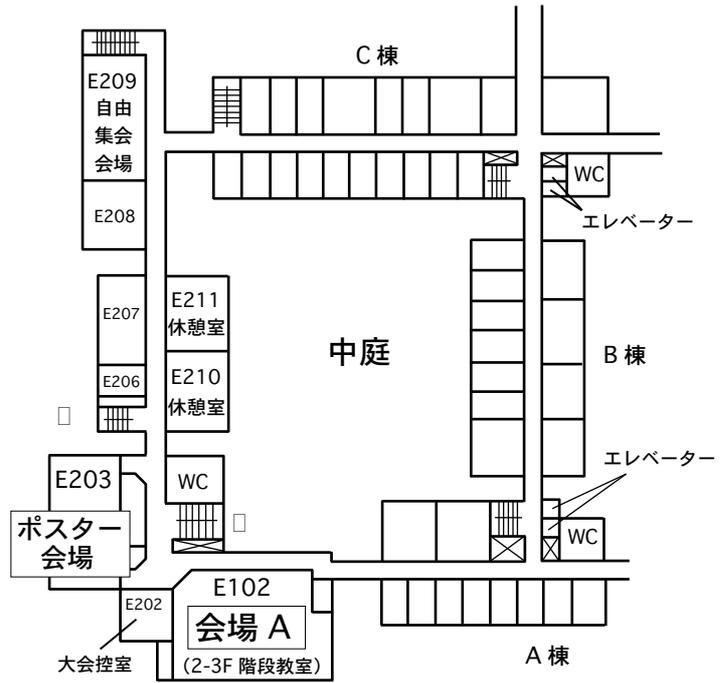
東広島

会場（理学部 E 棟）見取図

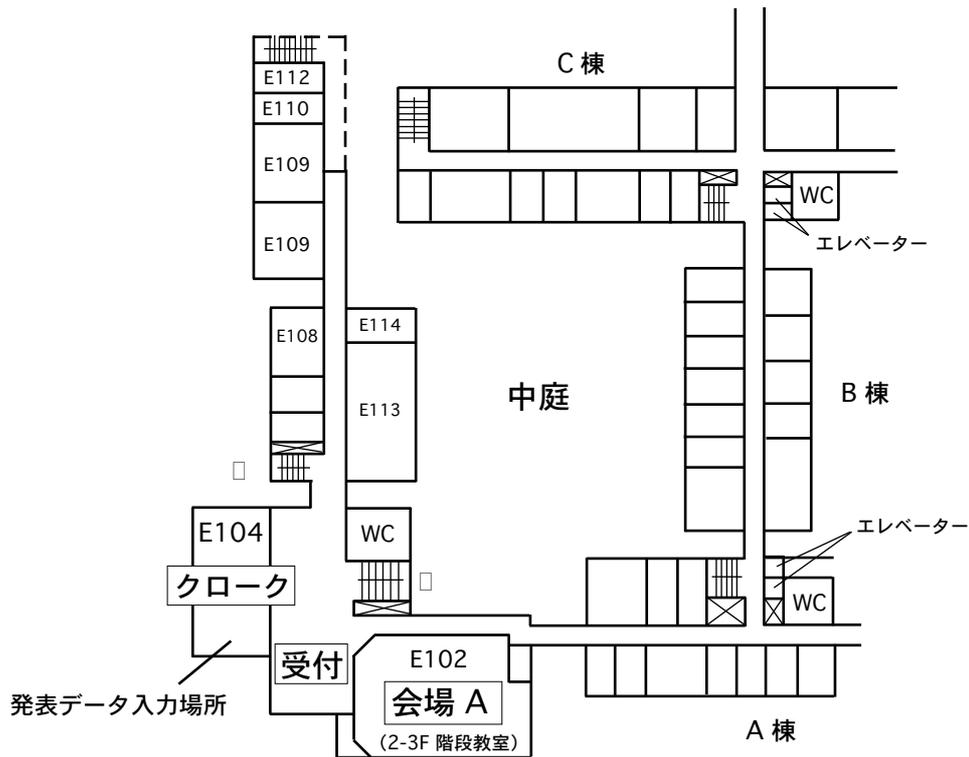
E 棟 1階



E 棟 3階



E 棟 2階



大会の御案内

◆**日程**：2006年10月21日（土）、22日（日）

◆**会場**：東広島市鏡山1-3-1 広島大学（東広島キャンパス）理学部E棟

◆**大会費（当日参加）**：大会参加費 3,500円、懇親会費 4,500円

◆**受付とクローク**：受付は理学部E棟2階（E102前）のホールにて行います。

受付開始は、21日（土）・22日（日）ともに、午前8時30分からです。

参加申し込みをされている方は、受付で名札等をお受け取り下さい。

当日参加の方は、参加費をお支払いの上、プログラムと名札をお受け取り下さい。

クロークは、受付ホール前、E104教室です。10月21日（土）は、8時30分から18時20分まで、10月22日（日）は、8時30分から17時20分まで、ご利用頂けます。

◆**昼食**：10月21日（土）は、学生食堂（E棟正面・懇親会会場と同じ）が利用できます。

10月22日（日）は、弁当を予約されている方は、受付時に弁当券をお渡ししますので、昼食時にお弁当をお受け取り下さい。近隣にコンビニ・弁当屋などはございませんので、ご注意ください。

◆**両生類研究施設見学**：10月21日（土）の昼食時間帯に、両生類研究施設の見学が可能です（希望者のみ）。見学を希望される方は、21日（土）の受付時にお申し出下さい。記念撮影直後に、集合時間・場所をアナウンス致します。

◆**懇親会**：10月21日（土）18時30分から、キャンパス内の学生食堂にて開催致します。事前に参加申し込みをされている方の名札にはシールが貼られていますので、ご確認ください。当日参加（4,500円）も受け付けますので、21日午前中に受付にてお申し込み下さい。

◆**総会**：10月22日（日）14時45分より、A会場（E102）にて開催いたします。

◆**記念写真**：10月21日（土）午前の口頭発表終了後（12時）、理学部E棟前にて行います。写真は、会誌（和文誌）にも掲載されますので、写真を申し込まれていない方もご参集下さい。なお、写真は10月22日（日）に受け取ることができます。会期中にお受け取りをご希望の方は、22日に受付にお申し出下さい。お受け取りにならなかった方には、後日郵送致します。

◆**自由集会**：10月22日（日）大会終了後（17時20分から20時）、自由集会が行われます。3つの集会が予定されています。

- ・カエル探偵団：ダルマガエル（ナゴヤダルマガエル）保全の現在と未来（世話人 福山欣司）
- ・カメ懇話会：在来淡水性カメ類の保全対策について（世話人 小菅康弘）
- ・系統地理談話会：遺伝子からみた日本列島の両生爬虫類の系統地理（世話人 本多正尚）

講演される方へ

◆口頭発表

口演 1 演題につき、発表 1 2 分・質疑応答 3 分です。発表開始から 1 0 分後に 1 鈴、1 2 分後に 2 鈴、1 5 分後に 3 鈴となります。発表時間の厳守をお願いいたします。

会場には、Mac (OS X) と Windows (XP) を用意いたします。持ち込まれたノートパソコンをつなぐことはできません。PC プロジェクター用のデータは、CD に焼き、演題番号、発表者、OS (Mac か Win)、ソフト名 (PowerPoint か Acrobat) を明記して、早めに受付に提出し、スタッフと共にコンピュータに入力・確認を行って下さい。特に、2 1 日午前発表予定の方は、必ず開会前 (9 時 3 0 分) までに入力を願います。また、CD 破損により読み込めないトラブルが起きることもありますので、フラッシュメモリー等にバックアップを取ってお持ちになることを強くお勧めします。

なお、発表用データの事前郵送を歓迎いたします (大会事務局宛)。この場合は、前もって問題がないかチェックします。

◆ポスター発表

ポスター会場は、3 階大会議室 (E 2 0 3) です。パネルに講演番号を付けていますので、所定の場所に貼って下さい。パネルは、幅 8 0 cm X 高さ 1 6 0 cm です。パネルに収まるようにポスターを作成して下さい。

なお、パネルが堅いため、画鋏が使えませんので、セロテープにて貼付けをお願いします。セロテープは会場に準備いたしますが、数に限りがございますので、使い終わった方は、貼られていない方に渡すか、会場係に戻して下さい。

ポスターの貼付けは、1 0 月 2 1 日 (土) 8 時 3 0 分以降いつでも行えます。ご自分の発表に間に合う様に貼付けをお願いいたします。また、1 0 月 2 2 日 (日) 1 7 時 3 0 分までにはがして下さい。この時刻以降に残っているポスターは、事務局で処分いたします。

1 0 月 2 1 日 (土) 1 3 時 4 5 分から 1 5 時までは奇数番号、1 0 月 2 2 日 (日) 1 4 時 1 5 分から 1 5 時 3 0 分までは偶数番号のプレゼンテーションとなっております。この時間には、発表者方は、ポスターの前にお立ち下さい。ポスター会場自体は、学会会期中開けておりますので、いつでも御覧頂くことができます。

講演要旨の作成と提出に関する要項

◆はじめに

今大会の講演要旨は、2007年3月発行予定の爬虫両棲類学会報第2007巻第1号に掲載されることになっています。講演要旨を掲載するにあたっては、原稿の回収や編集が大きな負担となるため、次のような要項で講演要旨の電子データによる提出をお願いしております。今大会も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、どうしても電子データの提出が困難な場合は従来通りの手書き原稿のみで結構です。

◆講演要旨作成について

口頭発表、ポスター発表とも講演要旨を作成して下さい。表題、発表者氏名、所属、英文表題、英文氏名、本文の順にお書き下さい。本文の字数は660字(22字×30行)以内、英文の場合は200 words以内です。パソコンやワープロの場合は、A4判用紙に読み取れる大きさの字で作成して下さい。レイアウトは、爬虫両棲類学会報 第2006巻 第1号 の学会大会講演要旨をご参照下さい。手書きの場合は400字詰め原稿用紙にお書き下さい。

◆電子データ提出について

1. メールをご利用になる方

10月20日午前10時までに講演要旨をメールの添付ファイルとしてお送り下さい。利用できるワープロソフトは、MSワード、一太郎、EGWORD、Jedit4です。この場合、大会当日に印刷原稿をお持ちいただく必要はありません。これらのソフトがない場合は、メールの本文に講演要旨を入れてください。ただし、その場合は、イタリック体や特殊文字が利用できませんで、それらを指示した印刷原稿を大会当日に受付に提出してください。

講演要旨送り先アドレス：abst@frog.econ.keio.ac.jp

2. メールをご利用にならない方

大会当日に印刷原稿およびその電子データをご提出下さい。利用出来るワープロソフトはメールの場合と同じです。それらのソフトがない場合は、テキスト形式のデータでお願いします。電子データは、フロッピーディスク、CD-R、CD-RWのいずれかに保存して下さい。特にご要望のない限り、媒体の返却は致しませんのでご了承下さい。提出はいずれも大会受付にお願いします。

注意：パソコンで表記出来ない漢字が含まれる場合は、表記可能な漢字に代替して頂くか、それが困難な場合は、印刷原稿に指定の漢字を朱書きしてご提出下さい。

◆手書き原稿のみを提出の場合

口頭発表、ポスター発表ともに、大会当日に受付へご提出下さい。

日本爬虫両棲類学会
和文誌編集委員会

◆ 特別講演

10月21日(土) 10:00-10:30 A会場(E102)

西岡みどり(広島大・院理・両生類研)

「両生類の特定の組合せの雑種に多発する癌について」

(座長: 矢尾板芳郎)

◆ シンポジウム 「日本の絶滅危惧両生爬虫類の現状と保全の試み」

10月22日(日) 9:00-11:00 A会場(E102)

S1 松井正文(京大・人間・環境)

「日本の両生爬虫類における絶滅危惧種の現状」

S2 太田英利(琉球大・熱生研)

「琉球列島を中心とした稀少爬虫類の検出と保全の試み」

S3 亀山 剛(復建調査設計株式会社)

「広島県におけるダルマガエルの危機と再導入の現状」

S4 桑原一司(広島市安佐動物公園)

「安佐動物公園におけるオオサンショウウオの人工繁殖と域内保全」

S5 大海昌平(奄美市役所・農林課)・住田正幸(広島大・院理・両生類研)

「絶滅危惧種イシカワガエル(奄美大島産)の現状と人工繁殖の試み」

(座長: 太田英利)

- 共催: 県立広島大学重点研究事業 -

◆ 自由集会

10月22日(日) 17:15-20:00

・カエル探偵団 —ダルマガエル(ナゴヤダルマガエル)保全の現在と未来—

A会場(E102)(世話人: 福山欣司)

・カメ懇話会 — 在来淡水性カメ類の保全対策について —

B会場(E002)(世話人: 小菅康弘)

・系統地理談話会 — 遺伝子からみた日本列島の両生爬虫類の系統地理 —

3F 講義室(E209)(世話人: 本多正尚)

口頭発表 A 会場 (E102) 10月21日 (土)

(座長：伊原禎雄)

1A01 10:45-11:00 ○平山良太 (広島大・院教・自然)・大川博志 (井口高)・鳥越兼治 (広島大・院教・自然)

「未整備水田における爬虫両生類の生息状況と季節変化」

1A02 11:00-11:15 ○大澤啓志 (慶応大・総合政策)

「棚田畦畔のニホンアカガエルの季節消長」

1A03 11:15-11:30 ○竹中 踐 (北海道東海大・工)

「台風による環境変化後のエゾアカガエルの繁殖」

1A04 11:30-11:45 ○大西 拓 (琉球大・理工・海自/宮津水族館)・太田英利 (琉球大・熱生研)

「同所的に生息するハナサキガエル類2種における活動性の季節変異と移動について：追加データに基づく再検討」

1A05 11:45-12:00 ○原村隆司 (京大・理・動物)

「海岸環境に生息するリュウキュウカジガエルの産卵場所と潮汐との関係」

12:00-12:15 記念撮影, 12:15-13:45 昼休み(両生類研見学), 13:45-15:00 ポスター発表

(座長：福山欣司)

1A06 15:00-15:15 ○藤谷武史 (東山動物園)・三谷伸也 (鳥羽水族館)・三浦郁夫 (広島大・院理・両生類研)

「愛知県北西部のトノサマガエルアルビノ遺伝子の遺伝様式と新たに見つかった異常な形態形質」

1A07 15:15-15:30 ○峰山 大・大谷浩己・三浦郁夫 (広島大・院理・両生類研)

「ツチガエルの性決定に関与する細胞質因子の探索」

1A08 15:30-15:45 ○尾形光昭 (横浜市繁殖センター)・大谷浩己・三浦郁夫 (広島大・院理・両生類研)・長谷川嘉則 (藤田保健衛生大・総医研)

「近畿地方におけるツチガエルの性決定機構の進化」

1A09 15:45-16:00 ○三浦郁夫・大谷浩己 (広島大・院理・両生類研)

「ツチガエルの起原と系統進化」

1A10 16:00-16:15 ○倉石典広・松井正文 (京大・人間・環境)

「東南アジア産シロアゴガエル属数種間の遺伝的關係」

1A11 16:15-16:30 ○西澤俊孝 (広島大・院理・両生類研)・國原多佳子・藤井 保 (県立広島大・生活科学)・倉林 敦・住田正幸 (広島大・院理・両生類研)

「交雑実験、形態観察およびミトコンドリア DNA 解析に基づくカジガエルにおける種内分化」

16:30 - 16:45 休憩

(座長：西川完途)

1A12 16:45–17:00 ○Md. Shafiqul Alam, Takeshi Igawa (Amphibian Biol. Inst., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.), Md. Mukhlesur Rahman Khan (Bangladesh Agr. Univ.), Md. Mafizul Islam (Amphibian Biol. Inst., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.), Mitsuru Kuramoto (Munakata City), Masafumi Matsui (Grad. Sch. Hum. & Env. Stud., Kyoto University), Atsushi Kurabayashi, Masayuki Sumida (Amphibian Biol. Inst., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.)

「Molecular phylogenetic relationships among the Indian bullfrog *Hoplobatrachus tigerinus* and related species from Bangladesh and some other Asian countries inferred from mtDNA gene sequences」

1A13 17:00–17:15 ○Md. Mafizul Islam, Naoko Kurose, Md. Shafiqul Alam, Masayuki Sumida (Amphibian Biol. Inst., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.), Md. Mukhlesur Rahman Khan (Dept. Fisheries Biol. & Genet., Bangladesh Agr. Univ.)

「Molecular phylogenetic relationship of *Fejervarya limnocharis* complex from Bangladesh and some other Asian countries inferred from the nucleotide sequences of mitochondrial DNA genes」

1A14 17:15–17:30 ○Hon Tjong Djong, Md. Mafizul Islam (Amphibian Biol. Inst., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.), Masafumi Matsui (Grad. Sch. Hum & Env. Stud., Kyoto Univ.), Midori Nishioka, Masayuki Sumida (Amphibian Biol. Inst., Grad. Sch. Sci., Hiroshima Univ.)

「Morphological divergences and reproductive isolating mechanisms among the Indonesia, Malaysia and Japan populations of the *Fejervarya limnocharis* complex」

1A15 17:30–17:45 ○佐藤直樹(広島大・院理・両生類研)・大海昌平(奄美市役所・農林課)・太田英利(琉大・熱生研)・倉林 敦・住田正幸(広島大・院理・両生類研)

「絶滅危惧種イシカワガエルにおける種内分化」

1A16 17:45–18:00 ○島田知彦・松井正文(京大・人間・環境)

「イシカワガエルとハナサキガエル種群の属・亜属名に関して」

口頭発表 B 会場 (E002) 10月21日 (土)

(座長：森 哲)

1B01 10:45–11:00 ○高橋洋生(東邦大・理・生物)

「カメレオンの採餌行動における餌のタイプの影響」

1B02 11:00–11:15 ○戸田光彦・中川直美・鋤柄直純(自然環境研)

「小笠原諸島におけるグリーンアノールのトラップによる捕獲の試みについて」

1B03 11:15–11:30 ○臼田隼人(東邦大・院理・生物)・森田考恵(しろい環境塾)・長谷川雅美(東邦大・理)

「都市河川における河川改修工事がカメ類個体群に与える影響」

1B04 11:30–11:45 ○山本友里恵(琉大・理工・海自)・太田英利(琉大・熱生研)

「琉球列島産ヤモリ類 3 種における孵卵温度の孵化幼体性比への影響 (続報)」

1B05 11:45-12:00 ○田中幸治（京大・理・動物）

「色彩二型をしめすシマヘビにおける這行速度の温度感受性」

12:00-12:15 記念撮影, 12:15-13:45 昼休み(両生類研見学), 13:45-15:00 ポスター発表

(座長：戸田 守)

1B06 15:00-15:15 ○亀崎直樹（ウミガメ協／東大・院農生）・松沢慶将・水野康次郎・島 達也（ウミガメ協）

「漂着死体の記録からみた日本沿岸海域のウミガメ類の分布」

1B07 15:15-15:30 ○池田隆美（北大・院地環研）・亀崎直樹（ウミガメ協／東大・院農生）・松沢慶将・島 達也（ウミガメ協）・東 正剛（北大・院地環研）

「アカウミガメの日本近海における行動解析」

1B08 15:30-15:45 ○石原 孝・亀崎直樹（ウミガメ協／東大・院農生）・山崎千亜希・山下 傑（ウミガメ協）・日野明德（東大・院農生）

「アカウミガメ (*Caretta caretta*) の二次性徴に伴う外部形態の変化」

1B09 15:45-16:00 ○高橋亮雄・太田英利（琉球大・熱生研）・加藤敬史（倉敷芸術科学大・生命科学）

「琉球列島の徳之島から産出した後期更新世ヤマガメ属化石」

1B10 16:00-16:15 ○太田英利・高橋亮雄（琉球大・熱生研）・池田忠広・大塚裕之（鹿大・院理工）

「南琉球の宮古島上部更新統より得られたヘビ類の化石について」

1B11 16:15-16:30 ○中村泰之（琉球大・理工・海環）・太田英利（琉球大・熱生研）

「宮古島からの後期更新世ヒキガエル化石とミヤコヒキガエルとの関係について」

16:30 - 16:45 休憩

(座長：太田 宏)

1B12 16:45-17:00 ○真山春菜・長谷川雅美（東邦大・理）

「徳島県伊島産ニホンヒキガエル *Bufo japonicus japonicus* の跳躍能力」

1B13 17:00-17:15 ○照井滋晴（釧路大・生物学研）・前田 潤（北教大附属小）

「釧路湿原美濃地区に生息するキタサンショウウオの活動性」

1B14 17:15-17:30 ○佐藤孝則（天理大・おや研）・堤 公宏（ズコーシャ・総合科学研）

「北海道帯広市街地に分布するエゾサンショウウオの卵嚢双数の年変化」

1B15 17:30-17:45 ○田口勇輝（大阪府大・院生命環境・緑地保全）

「オオサンショウウオの終夜行動」

1B16 17:45-18:00 ○桑原一司・中越信和（広島大・院国際協力）

「オオサンショウウオの産卵行動の分析」

口頭発表 A 会場 (E102) 10月22日 (日)

(座長：見澤康充)

2A01 11:15-11:30 ○平島徹也・大宅 絢・高林泰斗・岡崎正太・岡本拓也・大埜勝寛・防田真哉・星野羊一・澤口友昭・森田達己・山内 崇・三浦淳子 (広島国泰寺高)、福本幸夫・足利和秀・桑原一司 (安佐動物公園)・三浦郁夫 (広島大・院理・両生類研)

「オオサンショウウオ固定標本からのDNA抽出とミトコンドリア遺伝子の解析 - 広島県内2つの河川集団の比較 -」

2A02 11:30-11:45 ○防田真哉・平島徹也・大宅 絢・高林泰斗・岡崎正太・岡本拓也・大埜勝寛・星野羊一・澤口友昭・森田達己・山内 崇・三浦淳子 (広島国泰寺高)・土井敏男 (日本動物園水族館協会)・三浦郁夫 (広島大・院理・両生類研)

「ミトコンドリア遺伝子から推測するオオサンショウウオ地域集団の遺伝的分化 - 広島と和歌山集団の比較 -」

2A03 11:45-12:00 ○松井正文・富永 篤 (京大・人間・環境)

「ミトコンドリア DNA 塩基配列変異に基づくオオサンショウウオ個体群間の系統関係」

2A04 12:00-12:15 ○吉川夏彦・松井正文・西川完途 (京大・人間・環境)

「ハコネサンショウウオの遺伝的変異」

2A05 12:15-12:30 ○富永 篤・松井正文 (京大・人間・環境)・林 光武 (栃木県博)・見澤康充 (建設環境研)・田辺真吾 (京都市)

「ミトコンドリア DNA の塩基配列に基づくトウキョウサンショウウオの系統関係」

2A06 12:30-12:45 ○青木 玄・松井正文・西川完途 (京大・人間・環境)

「トウホクサンショウウオの遺伝的変異」

12:45-13:30 昼食, 13:30-14:45 ポスター発表, 14:45-15:45 総会

(座長：倉林 敦)

2A07 15:50-16:05 ○西川完途・松井正文 (京大・人間・環境)・見澤康充 (建設環境研)・田辺真吾 (京都市)

「オキサンショウウオの系統的位置」

2A08 16:05-16:20 ○大川博志 (井口高)・奥野 隆史 (皆実高)・宇都宮妙子 (広島市)

「西日本におけるカスミサンショウウオの3つの大きなグループ」

2A09 16:20-16:35 ○松木崇司・松井正文 (京大・人間・環境)

「京大構内人工池に生息するカスミサンショウウオの変態サイズ」

2A10 16:35-16:50 ○秋山繁治 (清心女子高)

「飼育下におけるオオイタサンショウウオの繁殖」

2A11 16:50-17:05 ○見澤康充 (建設環境研究所)・松井正文 (京大・人間・環境)

「東京都八王子におけるヒダサンショウウオの個体数の変動」

口頭発表 B 会場 (E002) 10月22日 (日)

(座長：亀崎直樹)

2B01 11:15-11:30 ○増永 元 (琉球大・熱生研)

「近年のサンゴの白化が座間味島近海に生息するイイジマウミヘビ個体群に与えた影響」

2B02 11:30-11:45 ○木寺法子 (琉大・理工・海環)・太田英利 (琉大・熱生研)

「サキシママダラ (爬虫綱, ナミヘビ科) のヒキガエル毒耐性における変異：毒餌との同所性の履歴との関係について」

2B03 11:45-12:00 ○森 哲 (京大・理・動物)・長谷川雅美 (東邦大・理)・森口 一 (蛇研)・田中幸治 (京大・理・動物)

「タダナエ島産シマヘビの巨大化は孵化個体でも見られるか？：島嶼巨大化の適応的意義の仮説と実験」

2B04 12:00-12:15 ○Shawn E. Vincent (Dept. Zool., Kyoto Univ.)

「Ontogeny of feeding mechanics in the North American banded water snake (Colubridae: *Nerodia fasciata*)」

2B05 12:15-12:30 ○Alan H. Savitzky, Deborah A. Hutchinson (Old Dominion Univ.), Akira Mori (Dept. Zool., Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ.), Gordon M. Burghardt (Univ. Tennessee), Jerrold Meinwald, Frank Schroeder (Cornell Univ.)

「Sequestration of dietary toxins by *Rhabdophis tigrinus*: Recent chemical and physiological studies」

2B06 12:30-12:45 丹羽 孝・○鳥羽通久 (蛇研)

「ヘビ類数種の体表脂質について」

12:45-13:30 昼食, 13:30-14:45 ポスター発表, 14:45-15:45 総会

(座長：本多正尚)

2B07 15:50-16:05 ○疋田 努 (京大・理・動物)

「オガサワラトカゲの分類学的地位について」

○Tutomu Hikida (Dept. Zool., Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ.)

2B08 16:05-16:20 ○安川雄一郎 (琉大・熱生研)

「形態形質からみたフィリピンヤマガメ (*Siebenrockiella leytensis*) の分類学的地位について」

2B09 16:20-16:35 ○藤井 亮 (琉球大・理工・海自)・太田 英利 (琉球大・熱生研)

「クサガメ - ミナミイシガメの想定雑種個体群のミトコンドリア DNA ハプロタイプ組成について (爬虫綱, イシガメ科)」

2B10 16:35-16:50 ○片山 亮 (京大・理・動物)、長谷川雅美 (東邦大・理)、戸田 守 (京大・理・動物)

「ミトコンドリア DNA を指標としたシマヘビの系統地理 (3)」

2B11 16:50-17:05 ○戸田 守 (京大・理・動物)

「MacArthur & Wilson の島嶼平衡モデルに基づく中琉球産爬虫両生類の洋上分散の推定の試み」

ポスター発表

P01 ○平井利明（東北大・院農・フィールドセンター）

「ニホンアマガエルを 20 倍増やす方法」

P02 ○Shu-Hui Kuan, Yu-Teh Kirk Lin, Ling Jiang (Inst. Ecol. & Evol. Biol., Natl. Taiwan Univ., Taiwan)

「Effects of habitat fragmentation on the Indian rice frog (*Rana limnocharis*) population structure in central Taiwan」

P03 ○関谷國男・柿原芳章（新潟大・理・自然環境）

「佐渡島における復元棚田 ～4 年間に見られた両生類生活史の変化～」

P04 ○高井孝太郎・岩熊敏夫（北大・院環境）

「北海道におけるトノサマガエルの分布」

P05 ○戸金 大（明治大・院農・応植研）・福山欣司（慶応大・生物学教室）・倉本 宣（明治大・農・応植研）

「谷戸田におけるトウキョウダルマガエルの成長」（仮題）

P06 ○小倉寧巳（同志社高）

「奈良県矢田丘陵舗装道路上に出現したカエルについて」

P07 ○松尾公則（長崎北高）

「長崎市におけるニホンアカガエルの繁殖」

P08 ○大海昌平（奄美市役所・農林課）

「イシカワガエルの生態～繁殖・オタマジャクシの成長」

P09 ○勝部五葉（琉大・理工・海自）・太田英利(琉大・熱生研)

「外来種シロアゴガエル(無尾目, アオガエル科) の繁殖と食性」

P10 ○美濃和駿（東京大・院農・生物多様性科学）・千賀裕太郎（東京農工大・農・水資源計画学）

「谷津水田環境における外来種ウシガエルの環境選好性」

P11 ○南部久男（富山市科学文化センター）・福田保（富山西高）・荒木克昌（ワイルドアイズ）

「富山県野積川におけるヒキガエル類の繁殖場所の変化(1995-2006)」

P12 ○渡辺有紀（東邦大・院理・生物）・長谷川雅美（東邦大・理）

「止水性無尾両生類の遊泳速度における温度依存性」

P13 ○沼澤マヤ・臼井利一・沼澤健則(フロッグハウス)

「飼育下における遠隔カメラを用いたナゴヤダルマガエル観察方法の報告」

P14 ○福山欣司（慶応大・生物学教室）・岩井紀子（東大・院農生）・草野 保（首都大・理工・生命科学）・栗

山由佳子（田んぼとあそぶ会）・竹中 践（北海道東海大）・森田敏弘・亀山 剛（広島ダルマガエルの会）・谷地森秀二（四国自然史科学研究センター）

「録音装置を使ったカエル類モニタリングの試み」

- P15 千田庸哉・有馬聡三（建設技術研究所）・森 慎吾（ラーゴ）・山崎俊哉・○中野 晋（環境設計）
「カジカガエルの繁殖期 24 時間行動追跡結果とテレメトリー法を用いた冬眠場所の特定」
- P16 ○太田 宏（東北大・生命・生態システム）
「テレメトリー法によるトウホクサンショウウオの陸上移動の追跡の試み III」
- P 17 ○岡田 純（鳥取大・院農）・Zach Felix（Alabama A&M Univ.）・岡田珠美（氷ノ山響の森）
「ピットタグ防水アンテナを使ったオオサンショウウオ幼生追跡の試み」
- P18 ○柿木俊輔（キタイ設計）
「河川改修工事がオオサンショウウオに与える影響(仮題)」
- P19 ○松井久実（麻布大・獣医）・持田浩治（京大・理・動物）
「南房総におけるイモリの食性」
- P20 ○伊原禎雄（奥羽大・生物）
「水田におけるイモリの餌」
- P21 EunSook Choi, JungHyun Lee, ○Daesik Park (Dept. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ., South Korea)
「Morphological characteristics of the mechanosensory receptors of *Hynobius leechii* (Hynobiidae, Urodela)」
- P22 ○小賀野大一・笠原孝夫・八木幸市・田中一行・吉野英雄（千葉県野生生物を考える会）
「九十九里平野におけるトウキョウサンショウウオの分布」
- P23 ○長谷川巖（福両爬研）
「英陽邑で確認された朝鮮山椒魚」
- P24 ○懸川雅市（小松川高）・羽角正人（新潟大・理・生物）・岸富士夫・齊川祐子（しろうま自然の会）
「長野県白馬地方北部のハクバサンショウウオとヒダサンショウウオの分布と外部形態」
- P25 ○坂本真理子（熊大・自然科学）・富永 篤・松井正文（京大・人間・環境）・阪田和弘（西日本技術開発）・
内野 明德（熊大・自然科学）
「ミトコンドリア DNA の nested clade analysis にもとづく九州産小型ブチサンショウウオの系統生物地理」
- P26 ○村上真樹・夏原由博・青木大輔・中山祐一郎（大阪府大・院生命環境・生態保全）
「ミトコンドリア DNA の塩基配列からみたカスミサンショウウオの遺伝的多様性」
- P27 ○佐久本杉子・本多正尚（琉大・教）・疋田 努（京大・理・動物）・太田英利（琉大・熱生研）
「ミトコンドリア DNA から明らかになったキシノウエトカゲ（爬虫綱：トカゲ科）の遺伝的分化と起源」
- P28 ○林 香織・本多正尚（琉大・教）・竹中 踐（北海道東海大）・太田英利（琉大・熱生研）
「ニホンカナヘビ（爬虫綱：カナヘビ科）の系統と生物地理に関する分子生物学的洞察」
- P29 ○本多正尚（琉大・教）・太田英利（琉大・熱生研）
「ミトコンドリア DNA から推定されたクロイワトカゲモドキ（爬虫綱：トカゲモドキ科）の系統と生物地理」

P30 ○大長賢太郎（琉大・教）・太田英利（琉大・熱生研）・大谷勉（高田爬虫類研）・安川雄一郎（琉大・熱生研）・本多正尚（琉大・教）

「リュウキュウヤマガメ（爬虫綱：イシガメ科）における遺伝的変異と個体群間の分化」

P31 ○佐藤方博・片岡友美（NPO 生態工房）

「東京都武蔵野地域の都市公園における淡水性カメ類の生息状況」

P32 ○矢部 隆・野村美巴（愛知学泉大・コミュニティ政策）

「愛知県知多半島における在来および外来の淡水棲カメ類の生息状況」

P33 ○岡田夕季（名大・院生命農）・矢部 隆（愛知学泉大・コミュニティ政策）・織田銃一（名大・院生命農）

「ニホンイシガメ *Mauremys japonica* の温度依存的性決定機構について（中間報告）」

P34 ○和泉 剛（動物調査の招福堂）

「近畿地方におけるヘビ類の分布 - 府県別種構成 -」

P35 ○江木寿男（日本総合科学）・山田 勝（岡山県自然保護センター）

「岡山県におけるヘビ類の観察記録と分布状況」

P36 ○森口 一（蛇研）

「ニホンマムシの繁殖の地理的変異」

P37 ○竹内寛彦（京大・理・動物）

「ヤマカガシ *Rhabdophis tigrinus* の地理的変異」

P38 ○角田 羊平（京大・理・動物）

「ヒメハブの待ち伏せ場所の変更：同じ場所に留まるか、頻繁に変えるか？」

P39 HaCheol Sung, SangMin Cha, SeoKwan Cheong, Shi-Ryong Park (Dept. Biol. Edu., Korea Natl. Univ. of Edu., South Korea), ○JungHyun Lee, Daesik Park (Dept. Sci. Edu., Kangwon Natl. Univ., South Korea)

「Movement patterns of golden frog, *Rana chosenica*, to a breeding site in a breeding population」

大会参加者名簿 (アルファベット順・○は懇親会参加者・演者としての発表のみ演題番号を記載)

秋山繁治	○	2A10	倉石典広	○	1A10	阪田和弘	○	
Alam, Md. Shafiqul	○	1A12	桑原一司	○	1B16・S4	佐久本杉子	○	P27
青木 玄	○	2A06	Lee, JungHyun	○	P39	真山春菜	○	1B12
荒尾智哉	○		前田憲男	○		佐藤方博	○	P31
防田真哉		2A02	間曾左智子	○		佐藤直樹	○	1A15
大長賢太郎		P30	増永 元	○	2B01	佐藤真一	○	
Djong Hon Tjong	○	1A14	松井久実	○	P19	佐藤孝則	○	1B14
江木寿男	○	P35	松井正文	○	2A03・S1	Savitzky, Alan H.	○	2B05
藤井 亮	○	2B09	松木崇司	○	2A09	関谷國男	○	P03
藤井 保	○		松尾公則	○	P07	千石正一	○	
藤田宏之	○		峰山 大	○	1A07	島田知彦	○	1A16
藤谷武史	○	1A06	美濃和駿	○	P10	下川典子		
福山欣司	○	P14	見澤康充	○	2A11	島津幸枝		
原 竜也	○		三科康人	○		末吉豊文	○	
原村隆司	○	1A05	光岡佳納子	○		住田正幸	○	S5
長谷川巖	○	P23	三浦郁夫	○	1A09	鈴木 大	○	
林 香織	○	P28	三浦淳子			田口勇輝	○	1B15
林 聡彦	○		森 哲	○	2B03	高橋亮雄	○	1B09
疋田 努	○	2B07	森口 一	○	P36	高橋洋生	○	1B01
平井利明	○	P01	森田敏弘	○		高井孝太郎	○	P04
平島徹也		2A01	村上真樹	○	P26	竹田正義	○	
平山良太		1A01	村田 幸			竹中 踐	○	1A03
本多正尚	○	P29	永田元春	○		竹内寛彦	○	P37
堀江道廣	○		中村泰之	○	1B11	田中幸治	○	1B05
星野一三雄	○		中野 晋		P15	照井滋晴		1B13
井川 武	○		南部久男	○	P11	戸田 守	○	2B11
伊原禎雄	○	P20	西川完途	○	2A07	戸田光彦	○	1B02
池田誠慈	○		西岡みどり	○	ML	戸金 大	○	P05
池田隆美	○	1B07	西澤俊孝	○	1A11	富樫忠志		
石原 孝	○	1B08	庭野 裕	○		富永 篤	○	2A05
Islam, Md. Mafizul	○	1A13	沼澤マヤ	○	P13	西堀智子	○	
岩永節子	○		沼澤健側	○		鳥羽通久	○	2B06
和泉 剛	○	P34	小賀野大一		P22	都筑明美	○	
角田羊平	○	P38	尾形光昭	○	1A08	臼田隼人	○	1B03
鷄内博之	○		小椋吉範	○		Vincent, Shawn E.	○	2B04
懸川雅市	○	P24	小倉寧巳	○	P06	渡邊ひろ美	○	
柿原芳草	○		大西 拓	○	1A04	渡辺有紀	○	P12
柿木俊輔		P18	岡田 純	○	P17	矢部 隆	○	P32
亀山 剛	○	S3	岡田珠美	○		山田 勝		
亀崎直樹	○	1B06	岡田夕季	○	P33	山本友里恵	○	1B04
片岡友美	○		大川博志	○	2A08	安原達郎		
片山 亮	○	2B10	奥田賢吾			安川雄一郎	○	2B08
勝部五葉	○	P09	大井 豊	○		安森盟文	○	
川内一憲	○		大澤啓志	○	1A02	吉川夏彦	○	2A04
木寺法子	○	2B02	太田英利	○	1B10・S2	吉村雅子	○	
菊川信人	○		太田 宏	○	P16	吉沢賢治	○	
小菅康弘	○		乙部洋平	○		湯浅義明	○	
小瀧 学	○		大海昌平	○	P08・S5			
Kuan, Shu-Hui	○	P02	Park, Daesik	○	P21			
倉林 敦	○		坂本真理子	○	P25			

交通の御案内

・山陽本線を利用する場合

西条駅前からバス「広島大学」行に乗り、
 広大中央口バス停で下車します

バス所要時間 20分

・新幹線を利用する場合

東広島駅前からタクシー利用です

所要時間 15分 (約2千円)

広島駅から山陽本線に乗り換え、西条駅下車

広島駅から大学まで1時間程度



・広島空港を利用する場合

白市駅までバスで行き、そこからJR山陽本線で西条駅まで来ます

空港から大学までの所要時間 1時間30分程度

広島大学東広島キャンパス(北東部)



日本爬虫両棲類学会第45回大会日程

10月21日(土)

10月22日(日)

AM8:30 受付開始	AM8:30 受付開始		
	9:00		
	9:15		
	9:30	シンポジウム	
9:45 開会 A会場 (E102)	9:45		
10:00 特別講演 A会場 (E102)	10:00		A会場 (E102)
10:15	10:15		
10:30 移動 A(E102) B(E002)	10:30		
10:45	10:45		
11:00 口頭発表 1A01 1B01	11:00	休憩・移動	A(E102) B(E002)
11:15	11:15		2A01 2B01
11:30	11:30	口頭発表	2A02 2B02
11:45	11:45		2A03 2B03
12:00 記念撮影	12:00		2A04 2B04
12:15	12:15		2A05 2B05
12:30	12:30		2A06 2B06
12:45 昼食 (両生類研見学)	12:45	昼食	
13:00	13:00		
13:15	13:15		
13:30	13:30		
13:45	13:45	ポスター発表 (偶数番号)	
14:00 ポスター発表 (奇数番号)	14:00	ポスター会場	
14:15 ポスター会場	14:15		(E203)
14:30 (E203)	14:30		
14:45	14:45		
15:00	15:00	総会	A会場 (E102)
15:15 口頭発表 1A06 1B06	15:15		
15:30	15:30		
15:45	15:45	移動	
16:00	15:50		2A07 2B07
16:15	16:05	口頭発表	2A08 2B08
16:30 休憩	16:20		2A09 2B09
16:45	16:35		2A10 2B10
17:00 口頭発表 1A12 1B12	16:50		2A11 2B11
17:15	17:05	休憩・移動	
17:30	17:20		
17:45		自由集会	
18:00 休憩・移動			A会場(E102)
18:15			B会場(E002)
18:30 懇親会			3F講義室(E209)
→ 20:30	→ 20:00		

大会事務局

〒739-8526 東広島市鏡山1-3-1

広島大学大学院理学研究科附属両生類研究施設内

TEL:082-424-7482 FAX:082-424-0739 (住田正幸)